

環境基本方針と自主行動計画

持続可能な循環型社会の形成をめざして、当社は2000年2月に「栗本環境自主行動計画」を制定しました。計画の推進を通じて、全社員が持続可能な社会の構築に向けて努力を続けています。

栗本環境基本方針

私たちは全ての事業活動において、水と大気と生命(いのち)の惑星、地球の環境にこだわったモノづくりに励むため次の活動を進めます

- ① 効果的な環境保全活動の推進
- ② 法規制等の遵守および環境リスクの排除
- ③ 省エネルギー、省資源、廃棄物の削減、リサイクル
- ④ 環境調和型製品への移行推進および環境保全機器設備の開発
- ⑤ 社員の教育、啓発
- ⑥ 地域社会への貢献

(制定日:1998年6月2日)

栗本環境自主行動計画

持続可能な循環型経済社会の構築に貢献していくため、2000年2月に栗本環境自主行動計画を制定しました。

- 地球温暖化対策
 - ゼロ・エミッション構想の導入
 - 環境負荷低減技術の集約・環境調和機器の開発
 - 環境対応企業としての社内教育と広報活動の推進
- という4つの重要課題について、行動目標を設定し、各事業所で目標達成のためにさまざまな活動を行っています。

地球温暖化、資源の枯渇、廃棄物の増大など、地球的、地域的環境問題が深刻化する中で、大量生産・大量消費・大量廃棄という経済構造の見直しや、それに伴う企業環境経営、企業生産活動のあり方についての早急な変革が求められている。このような状況の中において当社もあらゆる活動において環境との調和を一層強化し持続可能な循環型経済社会の構築に貢献していかねばならない。そのために栗本環境委員会および国際環境規格であるISO14001環境マネジメントシステム等の有効かつ効果的活用により環境保全創造活動、環境調和機器開発等の自主的、積極的な取り組みを推進することが極めて重要である。その認識の下、当面する重要課題である次の項目について自主行動活動を策定し環境行動指針とし、その推進に鋭意努力するものとする。

(制定日:2000年2月22日)

環境自主行動計画の重点取り組み課題と進捗状況

重点取り組み項目	取り組み事例	進捗状況	掲載頁
地球温暖化対策 (CO ₂ 排出抑制)	堺工場設備改修(省エネ)、大阪臨海工場明り取り		5P
	刈草の固形・炭化システム		9P
	燃料電池搭載車いす、バイオガスプラント		10P
	風力発電・太陽光ハイブリット発電		16P
ゼロ・エミッション構想の導入 (循環型社会の実現に向けて)	グリーン購入基準書		6P
	3R+R活動		6P
	ごみ減量優良標		6P
	ガス化溶融炉、廃コンクリート再生機		9P
環境負荷低減技術の集約・ 環境調和型機器の開発	水関連環境機器		8P
	廃棄物関連環境機器		9P
	エネルギー関連機器		10P
	住関連環境機器		11P
環境対応企業としての 社内教育と広報活動の推進	日経環境経営度200位		4P
	環境報告書の発行、社内報「クリモト」環境コーナー掲載		16P
	淡輪研修センター、環境講演会開催、びわ湖環境ビジネスメッセ出展、研究成果発表大会		16P
	ATCグリーンエコプラザでの講演、オイスカ「子供の森」計画支援(植林)		18P

※進捗状況は自己判断で次の4段階に分けました。 とてもよい よい まあまあ もう1歩